

「難民問題から国際理解教育を問う」プロジェクト 第2回公開研究会

日本国際理解教育学会の特定課題研究「難民問題から国際理解教育を問う」プロジェクトの第2回公開研究会を以下の通り実施します。今回のテーマは「移民と難民」です。

どなたでも参加いただけます。奮っての参加をお願いします。

1. 日時 2017年9月23日(土) 13:00～15:30
2. 場所 早稲田大学 戸山キャンパス (東京メトロ東西線早稲田駅徒歩5分)
33号館16階第10会議室
3. テーマ 「移民と難民」

4. ねらい

今回の公開研究会では、「インドシナ難民」「沖縄移民」「シリア難民」の3つの視点から、「難民」「移民」について考えます。今、学校教育において「難民」「移民」について子どもたちと学ぶことの意義について、事例を踏まえつつ参加者の皆さんと議論し、「自分ゴト」として「難民」「移民」を捉えることのできる学習プログラムのあり方について考えます。

5. 発表・協議内容

- 「日本の難民受け入れの原点、インドシナ難民」 風巻浩 (聖心女子大学/麻生高校)
～インドシナ難民の子どもたちとの出会いから生まれた高校生たちによる活動～
- 「沖縄移民における難民性」 金城さつき (JOCA 沖縄事務所)
～沖縄移民における強制性や迫害性～
- ワークショップ「シリア難民のハーシムさん」 山中信幸 (川崎医療福祉大学)
～「難民」を「自分ゴト」として捉え、「難民」から「自分」を問い直す教材とは～

6. 問い合わせ

onoderamina@gmail.com

なお当日は休日のため、大学キャンパスは閉門されています。門内の守衛室にて公開研究会への参加であることを断つての入構をお願いします。

以上